

道芝

水戸市青少年育成推進会議 会報紙



みちしば

第71号

令和5年8月15日

水戸市青少年育成推進会議
会長 坏 哲男

水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課内
水戸市中央1-4-1 ☎029-306-8692

「踏まれても根強く耐え、そっと腰をおろせばやさしく憩わせてくれ、

子どもたちを伸び伸びと遊ばせてくれる道芝」

水戸市役所HP▶
(水戸市青少年育成推進会議)



第38回

水戸市少年の主張大会開催

令和5年7月8日(土) 水戸市総合教育研究所

水戸市少年の主張大会は、青少年の社会に対する関心を高め、将来に向かっての展望を抱かせるとともに、彼らが現在どのような意見を抱いているのかについて、社会全体で共に考える機会を得ることを目的としています。

今年は4年ぶりに保護者の人数制限のない開催となりました。



高橋靖水戸市長より、「夢や展望、不安や不満でさえ、様々な思いを存分に語ってほしい。生きていく上で重要な調べる力やコミュニケーション能力を身に付けていってほしい」との激励の言葉をいただきました。

壇上の生徒は、緊張しつつも一言一句に思いを込めたり、遠くに届けるように語ったり、表情豊かに話したりするなど、思いや願いを伝えるためのその子ならではの工夫が見られました。ステージ袖で出待ちする生徒、座席で発表に耳を傾ける生徒たちにも緊張感が漂っていました。しかし、こちら側の心配をよそに力強い発表が続く、「言葉は人と人の心を結ぶ架け橋」であることを痛感させられました。

最後に、市総合教育研究所指導主事の西垣直美先生より、「人との関わりの中で生まれた掛け替えのない感情、未来を創るために志したいこと等、皆さんの言葉は、学校、家庭、地域で、さらなる共有の輪となって広がり、未来へとつながる希望の種となることを確信している」との講評をいただきました。

青少年育成活動の推進を

会長 坂 哲男



日ごろより、水戸市青少年育成推進会議の活動に、ご

理解とご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

昨年度は、コロナ禍の中の活動のため、会議や事業の規模を縮小するなどの制限はありましたが、お陰様で、計画していた事業は、概ね実施することができました。

さて、青少年を取り巻く環境は、いじめや不登校、児童虐待、貧困問題、有害情報 の氾濫など、様々な課題に直面しています。

それに加えて、新型コロナウイルス感染症の流行が、青少年の生活に様々な影響を与え、孤独や孤立問題が表面化するなど、ますます深刻化しています。

そこで、本年度も、市民の皆様のご協力をいただきながら、「大人のマナーアップ運動」～大人が変われば、子どもも変わる～の普及促進を根幹に据え、3つの専門部会を中心に、「家庭の日 絵画・ポスター」と作文コン

クール」や「緊急避難所」こどもの安全を守る家」の設置、「少年の主張大会」、「中学生交流会」などの育成事業を進めてまいります。

また、市内16の地区青少年育成会と連携して、地域や学校と協力しながら、子どもたちを温かく見守り、支援する「あいさつ、声かけ（言葉かけ）運動」などの実践活動を通して、「地域親」の輪を広げていくとともに、小中学生や高校生が地域で活躍できるよう、活動の場や機会を設けて、社会参加活動を促してまいります。

あわせて本年度も、広く市民の皆様に活動の様子をお知らせするため、会報紙「道芝」や水戸市のホームページによる広報活動の充実に努めてまいります。

次代を担う青少年が、自らの居場所を見つけ、自分の価値を認め、持てる力を十分に発揮できるよう、青少年の健全育成のための事業・活動に取り組んでいく所存です。本年度も、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

総務広報部会

部長 本郷きぬ子

「市民の皆様総ぐるみで

本推進会議は、明日を担う青少年の健全育成のために市民総ぐるみの活動を目指しており、地区青少年育成会や種々の機関、団体と共に3部会で種々の活動を行っております。

本部会では、地区育成会や青少年団体等の活動がより充実するよう青少年指導者研修会を開催いたします。

また、小中学生の保護者の手引きになればとの思いで

「家庭教育リーフレット」を発行しております。

3部会の活動の様子や子どもたちの姿を、この「道芝」の紙面で市民の皆様に分かりやすくお伝えできるよう、部員皆で励んでまいります。

コロナ禍の中で、思うように活動出来ないこともありましたが、今年度は、その間の知恵や工夫を活かしながら更に充実した活動を目指します。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

地域・環境部会

部長 亀田龍太郎

「変革の一年

地域・環境部会は多岐に渡る活動しております。

まずは「家庭の日の絵画・ポスター」と作文コンクール」の提出や返却方法等、規定の検討を考えております。

「こどもの安全を守る家」に關しましては、地域・環境部会内だけの管理運営では地区育成会の動きの把握が難しいため、昨年引き続き運営会議を開催し、地区育成会内の活動が分かるようにし、地区との連携がより図れるよう進めま

す。白ポストに關しましては、

設置場所の再検討、管理者の名称と連絡先の記載を行う予定です。デジタル化が進む中でも、未だ回収個数も多く、必要とされる事業と捉えております。

標語塔は今年度2か所の撤去をし、残りの標語塔は修繕をしつつ、状況に応じて撤去を行う計画です。

社会活動向上研修会は、部会内でアンケートを取りまとめ、どのような内容でいつに行うかを例年以上に早めに計画をいたします。



こどもの安全守る家に登録しませんか



青少年指導者研修会

令和4年度決算・令和5年度予算

決算／収入総額 5,776,434円 支出総額 5,222,617円
 差引残高 553,817円(次年度へ繰越)
 予算／収入総額 5,675,000円 支出総額 5,675,000円

収入 (単位:円)

科目	令和4年度決算	令和5年度予算	内容
会費	3,006,940	3,021,000	推進会議本部会費、賛助会費
補助金	2,100,000	2,100,000	水戸市、水戸市社会福祉協議会
諸収入	14	183	預金利子
繰越金	669,480	553,817	前年度繰越金
合計	5,776,434	5,675,000	

支出 (単位:円)

科目	令和4年度決算	令和5年度予算	内容
事務局費	536,551	517,000	会議費、旅費、需用費、役員費
総務広報部会費	1,545,569	1,750,000	青少年指導者研修会、会報「道芝」の発行(年2回)、リーフレットの発行(年1回)
地域・環境部会費	583,610	710,000	「家庭の日」絵画・ポスターと作文コンクール、社会環境向上研修会、「こどもの安全守る家」プレートの作成、標語塔の撤去
青少年社会参加部会費	170,987	230,000	少年の主張大会、中学生交流会、青少年若者体験活動事業
地域育成活動費	1,380,000	1,300,000	地域活動づくりの支援(16地区)
ふれあいを深める事業費	960,000	1,120,000	実施地区へ交付
負担金	15,900	17,000	水戸地区青少年育成市町民会議連絡会負担金
積立金	30,000	30,000	記念事業費
予備費	0	1,000	
合計	5,222,617	5,675,000	

5月21日、水戸市役所4階の中間会議室において、令和5年度定期総会を開催しました。
 当日は多くの関係者にご出席をいただき、役員改選を含め議事は滞りなく進行しました。
 未来を担う水戸の子どものために、今年度も市民が、そして私たち推進会議が一体となり見守っていただけるよう、市民総参加による育成活動に、一人一人のご支援とご協力をお願いします。



多くの方々に参加いただきました

青少年社会参加部会

部長 藤田秀一

新たな挑戦

青少年社会参加部会の事業は、大きく「少年の主張大会」「青少年若者体験活動事業」「中学生交流会」の3つです。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、種々の制限を受ける中でも、本部会は内容や方法を見直して工夫することで、歩みを止めることなく継続してきたことは、誇りに思います。
 5月からの行動制限撤廃に伴い、各事業をさらに見直し、よりよいものにするのが、本部会の今年度の抱負です。

中でも、青少年若者体験活動事業は、みと青年会、大学生、サブリーダーズ会、ジュニアリーダーに広く声をかけ、集まった代表者で、企画から運営まで行う取り組みに挑戦します。青少年が世代を超え、お互いの意見やアイデアを交流させ、一つの行事を創りあげる活動は、本推進会議にとつて大きな意義のあるものになると思われます。初めて

の試みなので、未知の部分がありますが、部員一同、ワクワクドキドキしながら、団結して取り組もうと思います。



青少年若者体験活動事業

令和5年度正副会長・部長・監事・理事(敬称略)

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 会長 | 環 哲男 | 理事 | 大録久美子・藤澤 康彦 |
| 副会長 | 岡崎 充芳・齋藤 直哉 | 白田 茂司・木下 智和 | |
| 総務広報部部長 | 川野 遼洋美・川又 宏文 | 鎮目 英俊・小坪 真司 | |
| 地域・環境部部長 | 本郷きぬ子 | 大内 清志・大津 常行 | |
| 青少年社会参加部部長 | 石野奈緒美 | 五十嵐 博・岡崎 充芳 | |
| 青少年社会参加部副部長 | 大高はづき | 茂垣恵美子・中村 英一 | |
| 地域・環境部副部長 | 亀田龍太郎 | 生越 達・後藤 通子 | |
| 青少年社会参加部副部長 | 生井沢康代 | 中島 弘友・木村 昌一 | |
| 青少年社会参加部副部長 | 佐々木数葉 | 高野 秀樹・中村 正樹 | |
| 青少年社会参加部副部長 | 藤田 秀一 | 綿引 勝・岡田 貴子 | |
| 青少年社会参加部副部長 | 梶 正憲 | 和田 康則・本郷きぬ子 | |
| 青少年社会参加部副部長 | 梶 正憲 | 山川 郁良・亀田龍太郎 | |
| 青少年社会参加部副部長 | 梶 正憲 | 齊藤 佳昭・藤田 秀一 | |
| 青少年社会参加部副部長 | 梶 正憲 | 石川 敦史・小嶋いつみ | |
| 青少年社会参加部副部長 | 梶 正憲 | 佐藤 光雄・三宅 修 | |

当たり前のように使っている「言葉」だからこそ、今一度見直すことが...

...「完璧な人はいない」という話を聞いてから、自分の中でもう一度...

なぜ私たちは働くのか、その答えの一つは、助け合いでつくられるこの社会の...

何かをしてもらった時や、助けてもらった時には、まず一番最初に「ありがとう」と...

皆さんは日本の森林面積は実はあまり変化がないこと、そして、水戸市の森林面積は大きく...

...どうしたら勝利に近づき、良い人間関係ができるのでしょうか。私が...

新しい学びや見方は、たった一ミリ先にあるのです。「見方を変えたら...

...自分がどういう存在であるかを理解していればこそ、他者を理解することもでき、また...

「水戸のグルメ」と聞いて、みなさんは何を思い浮かべますか？

...水戸黄門一行は、まさに正義の代表といえるでしょう。私がここで少し寂しく思うのは...

たった一つの言葉だけで、心は温かくなることを私は、ある活動を通して...

...人に流されないこと、人を一度の出来事だけで判断しないこと...

...AIは学校の勉強に用いるべきなのでしょうか。というより、私の学校生活のどのようなところに...

優秀賞21人の言葉から

中学生は、主張する

一人一人「ありがとう」を使う場合は違いますが、言われた人、言った人とともに美しい記憶に残ります。

多様性とは、みんな違ってみんないい、「自分らしさ」を大切にすることだと...

...看護師が一人の人間として患者さんに寄り添っていくことも、さらに大切に...

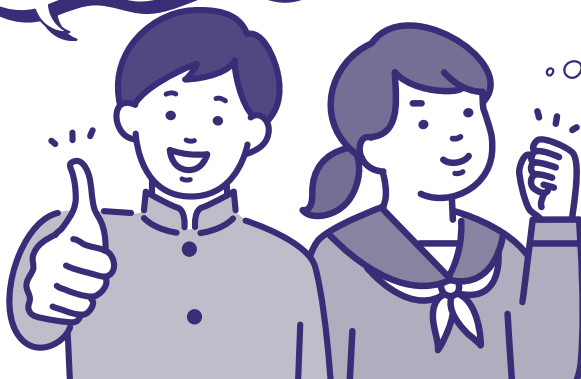
...「私も知らぬ間に誰かを傷つけているかもしれない」と...

水戸市には中学生でもボランティアとして参加できるイベントや活動を...

「自分らしく」あれば良い。たったそれだけのことに今の今まで気がつけていなかった...

...私が生活している中では、体が不自由な人への理解はまだ不十分ではないかと感じられることが...

...周りに悩んでいる人がいるかもしれないということを胸にとどめて人をサポートしていける存在に...



第38回水戸市少年の主張大会

感動と一体感のある大会

集合写真撮影時に後方に立たれた市長。笑顔で受付や案内、準備・片付けをしてくれたサブリリーダーズ会の高校生たち。主張内容に傾きながら温かいまなざしを向けてくれた参加者。壇上を降りる際の安堵の表情の発表者。発表者に温かく声をかけていた家族、グータッチをする発表者の学校の先生。応募してくれた多くの中学生。大会に関わった全ての人々によって感動と一体感のある大会になったことに心から感謝いたします。

〈これまでの学校での活用例〉

○学校長式辞で少年の主張
作文の話題に触れ、自分の
思いや考えを発信したり、
聴いたりすることのよさを
伝えた。

○国語の授業で、自分が書いた
作文を見直し、修正や推
敲を重ね、表現力を磨いた。

○優秀賞や佳作の発表音声を
視聴し、共有の輪を広げた。

「優秀賞」

「佳作」

学校名	氏名	学年	タイトル	氏名	学年	タイトル
第一中	猿田 千絢	3	大切な存在	箱崎あかり	2	それでいいから
第二中	石嶋 啓志	2	宝物のうまい棒	追田佳那美	2	食パンで思い出すこと
第三中	笠原 美紀	3	ありがとうの一言で	桑原 結都	2	スポーツを通じて水戸を盛り上げる
緑岡中	片岡 咲花	3	比較の果てに見えた個性	西村 明紗	3	価値のある人になること
第四中	小野田稜太	2	「言葉」がもつ力	川澄 玲奈	3	私たちから始められること
飯富中	高梨 紗季	2	梅まつりボランティアを通じて	大久保優羽	3	日々の幸せ
赤塚中	山崎 咲奈	3	私が大切にしていきたいこと	遠藤 莉愛	2	目に見えない思いやりリレー
第五中	仲田 心優	2	ナナメからの視点	柳 優奈	3	いのち
見川中	櫻井梓璃彩	2	助けられる「ありがとう」	今泉 佑惟	3	輝く「個性」
双葉台中	萩野谷彩音	3	積み重ねで近づくもの	笠原 綺乃	2	あいさつの大切さ
笠原中	藤枝 奏佑	2	なぜ私たちは働くのか	雨谷 柊哉	3	人の価値
石川中	小澤 瑠南	2	「ごめん、じゃなくてありがとう。」	北見 菜緒	2	ボランティアから学んだこと
千波中	松本 優衣	3	AIの必要性	小堀ひなた	1	よりよい世界・社会、私の目標
常澄中	島崎 結楽	3	自由だから	飛田枝帆美	2	勇気や笑顔を与える存在
内原中	佐藤 瑞貴	3	水戸とスタミナラーメン	多胡 翔太	2	僕が考える平和について
国田義務教育	中森 らら	8	カラフル	石川 唯愛	9	奪われた時間から、大切な時間を知る
茨城大学教育学部附属中	増山康太郎	1	森林を深く知り、地球を守るすべを知る	村井 愛莉	1	梅染めを日本へ
茨城中	所 愛子	2	好きなものは無限大			
茨城朝鮮初中高級	朴 利然	3	「私」という存在	姜 陽恵	2	雨のち晴れ
智学館中等教育	櫛田 恵里	3	母の職業・病気と私の将来	石井美沙姫	2	よりよい生き方
水戸第一高等学校附属中	鈴木 朝陽	1	冷たい雨に傘をさしかけられる人へ	今野 心宇	1	日本の文化と魚の骨

(応募総数2,325点)

青少年の活動紹介

YAサポーター集まれ!!

YAって何…?

ヤングアダルトの略で「若い大人」という意味です。

主に中学生〜高校生が中心です。

水戸市立図書館で、YAサポーターを募集しています。

サポーターの仕事内容は、

・図書館の本の配架・整架

・ミニ展示コーナー作り

・イベントのお手伝い などです。

以前には次のような活動もしました。

・ハロウィンパーティー

・夏休み！通りすがりの工作会

・つくってみよう！新聞エコバッグ

・おはなし会「おきなげやきの木の下で」

・通りすがりの工作会

「おりがみがみちとたるまさん」

・ちよこつと展示「探偵「神」秋の空」

・図書館タイムメッセージ

・1年後の自分へ

など

1回の活動
時間は1時間
くらいです。

図書館での
ボランティア
活動に興味の
ある人は、近
くの市立図書
館にお問い合わせ
してください。



わたしたちの地域⑩ 国田地区

国田地区青少年育成会は、学校やPTA、地域の方々の協力をいただきながら、あいさつのある明るい街づくりを推進すべく種々の活動に取り組んでいます。特に令和3年に発足したジュニアリーダーの活動には、地域をあげて力を入れ取り組んでいます。

・社会環境浄化活動

地域のゴミ拾い

ゴミの投げ捨て禁止の看板設置

春日神社清掃

・「福寿のつどい」参加

受付 お楽しみ会の運営

・「生涯学習フェスティバル」参加

ふよふよボールの店出店

【ジュニアリーダー】

「地域社会の中で活動できるよう、サ
ブリーダーの養成を図る。」本会会則に
書かれている一文です。

私が考える今どきの若者は、「相手が
今どのような感情を抱いているか」「自
分のとった言動が周囲にどういう影響
を及ぼすか」等々に対する自分なりの仮
説を持たない。仮説を導き出すために
必要な「想像力」が不足している印象を
受けます。幼少期からインターネット
を使いこなし、必要な情報を収集する能
力に長けている反面、自分で考える習慣
が少なかつたことが影響しているのか

もしもありません。

そんな子どもたちを、どうすれば地域
で活動、活躍できる存在に出来るか？
正直、頭を抱えました。そんな私に大き
なヒントをくれたのが、見川中学校区青
少年育成会で組織されているジュニア
リーダーズで、リーダー研修会の視察を
させていただきました。参加している子
どもたちは、最初のうちは慣れない環境
に戸惑いますが、時間が経つにつれて一
つのグループを形成していききました。

大人はきつかけを与えるだけで、基本
的に子どもたちに任せた、正に私の理想
とする取組でした。

頂いた情報と体験をベースとし、本会
ジュニアリーダーの運営を行っており
ます。たった4名でスタートしたジュニ
アリーダーですが、2年経過した今で
は、約30名の子どもたちが在籍してお
り、地域イベントへの参加協力など様々
な要請が来ております。

私たち大

人は「場所と
時間とアド
バイス」を与
えているだけ
で、基本的
に子どもた
ちに任せて
います。我々
大人の出来
ることは、子
どもたちの
望む活動に
対して、必要



トンネル壁面のらくがき消し作業

なお金と安
全を与える
だけだと考
えます。唯
一、形ある物
として与え
ているのは、
制服の襟に
輝くジュニア
リーダーの
証である桜
のピンバッジ
です。このピ
ンバッジを身
にかけた子どもたちは、数年経てば進学
や就職で地元を離れるかもしれません。
しかし、この活動経験を通して、生まれ
育った故郷を思い、その時に過ごしてい
る地域をも大切に思える若者になつて
くれればと思います。



ジュニアリーダーの赤ピブス

きつかけと周りの大人次第で、今どき
の若者も変わると確信しております。
私は、そんな変わるきつかけを与えられ
る大人としてこれからも子どもたちと
関わり、そして子どもたちの存在で私自
身も成長して行きたいと考えます。

【組織改革】

私は、地元の小中一貫校のPTA会
長と、本会会長との二足のワラジを履
いております。PTA会長である私が、
本会の会長になった理由の一つとして、
「育成会の実働隊がPTA会員である」
事に違和感を覚えていたからです。P
TAは学校内部の組織、地区育成会は

地域全体で子どもたちの環境作りや見
守りを行う組織です。決して切れる関
係ではありませんが、あくまでも別組
織です。

PTA会員さんや、高齢化社会の今
地域住民にも負担をかける事は得策で
はありません。そこで本会が行った改
革は、役員定数の削減、ジュニアリー
ダーを中心とした活動とし、大人はサ
ポート役に徹する事でPTAとの切り
離しと、地域への負担軽減に繋げまし
た。PTA

も育成会
も学校も
地域も、

「子どもた
ちが大切
で、良い環
境を」とい
う考えは共
通してい
て、向いて
いる方向は
一緒です。

各団体組
織が相互理解を図り、歩み寄る事こそ、
地域の子どもたちを守り育てる事に繋
がると考えます。

我々大人の確執や無関心、時代の変
化に目を向けずアップデート出来ない
事に、子どもたちが犠牲にならない事
を願います。今どきの若者を変えるの
は、我々の柔軟な考えなのかも知れま
せん。



神社清掃の様子

(石川 敦史 記)

子どもの緊急避難所

こどもの安全守る家

双葉台地区の取り組み



結果だと思っています。ですが、これで終わりではありません。これから地域に根ざす活動で子どもたちと地域の方々を繋げていきたいと思っています。それが更なる「こどもの安全守る家」の増加に繋がると信じています。

登下校時に犯罪や災害に巻き込まれるなどの緊急時や困ったことがあった場合などに子どもたちを見守り助けてくれる避難所として、たくさんの方々に協力いただいている「こどもの安全守る家」ですが、各地区ともに登録者の増加に向けて活動していると思います。しかしながら様々な環境、諸事情でなかなか増やすことが出来ないう状況にあるかと思えます。

そんな中、双葉台地区青少年育成会では会長を始めとした役員、店員などの店舗や趣旨に賛同していただいたご家庭などにご協力いただき登録者を増やしています。そのおかげで昨年の3月時点では88か所の登録でしたが、今年3月末には146か所まで増やすことが出来ました。これもひとえに地域の皆さまに「こどもの安全守る家」の重要性をご理解いただいていることが大きいと思います。

更に、今年度は避難所を更新したマップを作成し、双葉台小学校、中学校の児童生徒と保護者に配布しました。マップの配

一年間でこれだけの「こどもの安全守る家」を増やすことが出来たのは、地域の皆さまが子どもたちを守りたいと思ってくれたからこそ

こどもの安全守る家 双葉台中学区マップ

山根地区

双葉台地区

こどもの安全守る家 双葉台中学区マップ

緊急連絡先

双葉台小学校	029-253-1862
双葉台中学校	029-253-1861
水戸警察署	029-253-4115
双葉台消防団	029-254-4800
水戸消防本部	029-253-9246
消防センター	029-251-3991
山根消防センター	029-252-0966

学校周辺の危険箇所について

双葉台小学校及び中学校の周りの駐車場は、子どもたちの安全にご配慮ください。

うちの子どもと遊びの子ども

愉しくつながりながら

「ええっ。どういうこと？」

面白算数教室での子どもたちの声が聞こえてきます。退職後に地元の小学校で学びの機会をいただいています。キラキラした子どもたちとのやりとりをワクワクしながら堪能しています。

WB Cで優勝した大谷選手が付けていた背番号にちなんで「16番目予想」を紹介します。やることは前の二数（一桁の数）を足すだけです。計算結果が二桁になったら「一の位の数」だけになります。子どもが1番目の数と2番目の数を自由に決めます。3番目はその二数を足して求めます。4番目の数は2番目と3番目の数を足して求め、これを16番目まで繰り返します。私は子どもが2番目の数を決める前に16番目の数を予想します。

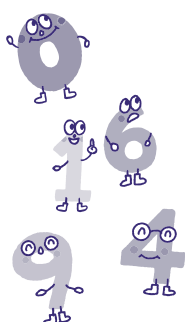
「1番目の数は9です」
「それなら16番目は3です」
「えっ？2番目の数をまだだのに？」
じゃあ、2番目の数を□として計算すると・・・本当だ。3になつた。ええっ？

期待通りの反応です。その後、互いの気付きを分かち合い、「何か決まりがあるはず。1番目の数に○を掛けると求められそう」ということが分かります。そんな中、計算が苦手な子が一生懸命に取り組む姿があります。

私は、その姿がいじらしくなり吸い寄せられるように九九を諦めます。気付くと周囲の子がその子なりの応援をしています。「やった。分かった」程なくして嬉しそうなお声、肩を叩き励ます優しい手、ほつとしたような笑顔も見られます。伸び盛りの子どもたちとながら、面白さと驚きと感動に満ちた算数を協働的に学べるのが愉快でなりません。

「でも、なぜ○を掛けると16番目が予想できるのかな？」
誰かが呟きます。子どもたちの手が一瞬止まります。探究心をくすぐる素敵な呟きです。学べば学ぶほど新たな疑問が生まれます。仲間と共に苦労したり喜んだりするからこそ、学びが広く深く豊かになります。明るい未来を創る地域社会の一員として、今後も子どもたちと愉しく学習していきたいと強く願っています。

(川又 宏文 記)



大人(親)が変われば 子どもも変わる!!

「親の背を見て子は育つ」と言うとおり、家庭では大人(親)の生き方から子どもは学びます。大人が口ではどんなに良いことを言っても、言っていることとやっていることが違うのでは、子どもの反発を招くのではないのでしょうか。大人は、態度で子どもに規範を示しましょう。



家庭でできること



あいさつを習慣づける

生活のリズムを整える

子どもの話を真剣に聞く

子どもを認める

時には厳しさも必要

水戸市訪問型家庭教育支援事業

**パパやママの子育ての悩み、
気軽にご相談ください。**

「家庭教育」は、すべての教育の出発点

家庭のふれあいを通して、お子さんが基本的な生活習慣、他人に対する思いやりや社会的マナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。

水戸市訪問型家庭教育支援事業とは

保健師や元教員などの家庭教育支援員が、ご自宅又はご指定の公的機関に伺い、子育てについての悩みをお伺いする事業です。

実際にあった相談


- 子どもが夜遅くまで起きていてなかなか寝ない。
- 小学校入学にあたり、学校生活が心配。
- 夫婦で子育てに対する考え方がズレている。
- ワンオペ育児で孤独感を感じる。
- 子どもが乱暴、落ち着きがない…など。



対象者

市内に居住する
小学1年生以下
の子どもの保護者

問い合わせ先


 みと好文カレッジ
 TEL:029-303-6602
 水戸市ホームページ
 (訪問型家庭教育支援事業)

見逃さ
ないで

子どものサイン

子どもは言葉に出さなくても、普段の行動や様子などからさまざまなサインを発しています。

サインをいち早く察し子どもと向き合しましょう。

また、家庭だけで問題を抱え込まないで、早い段階で学校や専門機関に相談しましょう。

いじめの早期発見・早期解決

親子の信頼関係を深めることが大切です。

いじめられている場合は、まず、子どもの心を支え、信頼できる情報を集めて、子どもを守る姿勢を伝えましょう。

いじめていた場合は、その背景を察して共に考え、悪いことは悪いこととして、毅然とした態度できちんと伝えましょう。

不登校への対応

登校できないでいる気持ちを、子どもの立場で理解し、安心感を抱けるように接しましょう。

SOS
サインの例

- 投げやりな態度や乱暴な言葉を使う。
- 生活が不規則になり、家族を避ける。
- 自分の部屋に閉じこもりがちになる。
- 学校での出来事を話すのを嫌がる。
- 調子が悪いなどと言って、登校を嫌がる。
など

悩みを話せる人がいますか? 気軽にお電話ください。

小・中学生とその保護者対象

不登校に悩む相談

Tel.029-244-6730

いじめ相談

Tel.029-244-1347

月～金

9:00～20:00

土

9:00～17:00

月～金

9:00～17:00

問い合わせ先：水戸市総合教育研究所
☎029-244-1331

井川大 鴨中 檜芝 戸御 三相 綿本 川石
野高 田村 山間 崎洗 羽引 郷又 野
健智 は 典祐 紀 太達 晴浩 きぬ子 宏奈
一美 づき 修子 子子 力郎 哉子 子子 文緒
(内常 笠 双葉 見四 千国 二石 五飯 成成 美
原澄 原台 川中 波田 中川 中富 成者 成者)

編集委員 (○委員長)

(T・I)

ライオン開催になっていった事業も、対面での開催が増えてくると思っています。地域のふれあいを大切にしたいと、子どもたちや若者たちの元気な姿を届けられるよう努めていきたいと思っています。

編集後記

今月号も、会報紙「道芝」をお読みいただきありがとうございます。また、発行にあたり、原稿をお寄せいただいた皆さまには心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が、インフルエンザと同等の「5類」へ移行され、行動制限がなくなり、マスクも場面に応じた着用でOKと変わりました。これでご数年間の停滞した空気が払拭され、私たちの生活も少しずつではありますが、動き出そうとしています。

これからは、今まで中止やオンライン開催が増えてくると思っています。地域のふれあいを大切にしたいと、子どもたちや若者たちの元気な姿を届けられるよう努めていきたいと思っています。